Published since 1971

日工販NEWS

May 2023

工作機械業界への知見を広げ、日工販会員の絆を深める広報誌

「赤目四十八滝」三重県名張市赤目町

日本工作機械販売協会

JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION

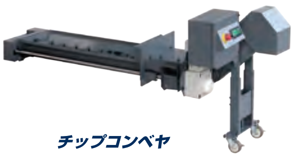
ONE STOP TOTAL SOLUTION

顧客課題に対して一つの窓口でトータル的に提案し、サービスまで一貫してサポートいたします。
自動盤の周辺装置を立体的に配置しフロアスペースの合理化を図り、システム的な付加価値と利便性を提供いたします。

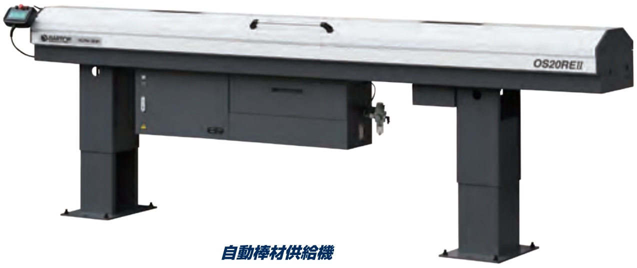
ミストチェンジャー

オイルクーラー

中圧・高圧クーラント装置



チップコンベヤ



自動棒材供給機

パーツブロークリーナー

スラッジバキュームクリーナー

BARTOP®

育良精機株式会社

ホーム
ページは
こちらから

日工販*NEWS*

May
2023

「赤目四十八滝」
三重県名張市赤目町
撮影：稲垣 誠人様
（三菱商事テクノス㈱）

SE 合格者に
ご回覧をお願いします。

CONTENTS

2 巻頭言
「先端技術を心で伝える営業を」
日本工作機械販売協会　理事　　**甲斐　英樹**

4 分かりやすい話題の技術
「高精度と脱炭素を両立する Green-Smart Machine『MB-46V Ⅱ』」
オークマ株式会社　　**柴田　貴俊**

7 分かりやすい話題の技術
「超精密門型成形平面研削盤『SGD シリーズ』のご紹介」
株式会社ナガセインテグレックス　　**新藤　良太**

10 私の読書評
「素心のすすめ」　釜屋株式会社　　**浅田　義治**

11 リレー随筆
三菱商事テクノス株式会社　　**井上　立也**

12 私の健康法
十六リース株式会社　　**稲葉　宏尚**

13 私の健康法
ニデックマシンツール株式会社　　**藤野　修**

14 私の好きなお店
「ラーメンいっとく」　三菱 HC キャピタル株式会社　　**竹田　匠**

15 会社生活に於ける私の初○○
「初めての転勤」　植田機械株式会社　　**采尾　浩二**

16 SE 教育
2023 年度日工販 SE 教育　日工販 SE 教育 第 242 回発表

17 お知らせ
「日工販ニュース表紙写真の公募について」

18 感動したスポーツの名場面
「ラグビー W 杯」　昭和リース株式会社　　**山本　茂樹**

19 事務局だより
第 54 回通常総会のご案内　今後の行事予定

20 海外だより
「人との繋がりを大切に」　上海北川鉄社貿易有限公司　　**道下　直輝**

22 自社紹介
赤澤機械株式会社　　**天知　勇**

24 統計資料
「工作機械・FA 流通動態調査 1」「工作機械・FA 流通動態調査 2」
「マシニングセンタ動向 &NC 施盤動向」
「工作機械業種別受注額（2023 年3 月）」

28 議事録
「第 303 回定例理事会議事録」「第 112 回教育委員会議事録」
「第 129 回調査広報委員会議事録」「東部地区工場見学会」
「東部地区情報交換会」「中部地区正副懇談会」「西部地区期末懇談会」

巻頭言

Introduction

先端技術を心で伝える営業を

工作機械の流通販売の将来を考えるなかで、私はまず、今春に行われたワールドベースボールクラシック（WBC）での日本の優勝を思い起こしました。コロナ禍の鬱積を一気に吹き飛ばし、全国民に感動と癒しを与え、日本人として誇らしい、清々しい気持ちにさせてもらいました。そんなWBCを振り返ると、私どもの事業運営に繋がるヒントも、大会の随所にあったのではないかと感じています。

3冠王・村上選手の不調が続くなか、信じて起用し続けた栗山監督。アメリカとの決勝戦では大谷選手が試合前、憧れるのをやめましょう、今日1日は勝つことだけを考えていきましょうと仲間を鼓舞しました。仲間を信じ、互いに激励しあう様子は揺るぎないものであり、そのことがついに大きな結果を導きました。

他方で今回のWBCは、膨大データの分析など先端技術を大いに取り入れたことで知られます。日本代表チームは初めて、弾道計測技術を活用し、ボールの軌道、回転、あるいは打球速度などを入念にチェックしていたそうです。

ここで急に話が飛びますが、WBCにおけるデータ等の活用は、IoT、AI、自動運転などの先端技術を取り入れて進化する今の工作機械業界と重なるものといえるでしょう。こうした技術進化を最大限活用し、また組み合わせて「戦力にする」必要性は、WBC同様、「工作機械を商うもの」にとっても欠かせなくなっています。

日工販に求められていることを小生なりに展望しますと、世界的な人口増加のなかで工作機械の世界需要は長期的に増えると予想されますが、需要拡大に比例して、より高度な処理能力が求め

られ、製造プロセスもますます変革していくでしょう。加えて脱炭素化に貢献しうる工作機械でないと、見積りの対象にもならないといった時代になりそうです。

そうしたなかで工作機械販売者は、自動化や人工知能等の技術の進歩に追いついて的確なアドバイスを行えるかどうかが問われます。機械の周辺機器、あるいはライン全体を見渡して「先端技術や、お客様個々に最適な」信頼のアドバイスを行うことが責務になります。自戒を込め、専門性の追求に励むべきと実感します。

しかしそれでもやはり私は、最後は「人の心あればこそ」の商売だと思います。３年以上の長きにわたって続いたコロナ禍による活動制限、またリアル営業の大幅縮小は、ここようやく終止符を打てる状況にあります。

今こそ人間力を発揮し、お得意先様に大いに貢献できるビジネスを人として提供したいと、うずうずしております。それこそが業界発展への道を切り拓くのではないでしょうか。ビフォー・アフターを含め、日本ならではのお客様目線に立った、親身で誠実な営業をベースに成長していきたいと思います。

日工販　理事　甲斐　英樹
（株式会社山善
機械事業部　副事業部長）

分かりやすい話題の技術

No. 183

高精度と脱炭素を両立する Green-Smart Machine『MB-46V Ⅱ』

オークマ株式会社
商品開発部
第四商品開発プロジェクト
柴　田　貴　俊

1. はじめに

脱炭素社会の実現に向けた動きがグローバルに加速する中、サプライチェーン全体で脱炭素、省エネの流れが強くなっている。さらに労働力不足や熟練技能者の引退による技能伝承問題などの課題解決が求められ、自動化やDXによる改革ニーズが製造業全体で高まっている。これらのニーズに応える、新世代CNC「OSP-P500」を搭載し「Green-Smart Machine」の展開として開発した高精度立形マシニングセンタ「MB-46V Ⅱ」（図1）を紹介する。

図1：MB-46V Ⅱ 外観

2. 機械の特徴

テーブルサイズは760mm × 460mm、XYZ 軸移動量は560mm × 460mm × 460mm、機械設置床面積は1,950mm × 2,810mm になる。

性能面では、従来機「MB-46V」を上回る精度安定性を有し、先進の脱炭素技術を搭載することで、高精度と脱炭素の両立を実現した。機械構造を見直し、経時熱変位は従来比38% 向上の5μm 以下を実現し、高い精度安定性を発揮する。送り軸はXY 軸40→42m/min、Z 軸32→36m/min に性能アップさせ、加えて電動 ATC シャッタ（図2）を標準搭載し、加工時間短縮と消費電力削減を実現した（図3）。

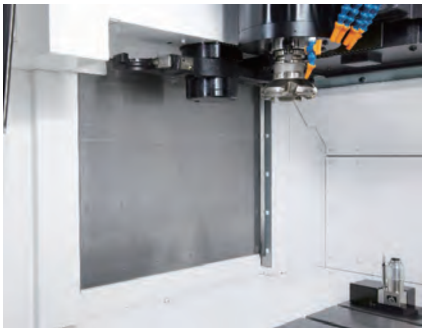


図 2：電動 ATC シャッタ

図 3：加工時間の短縮

主軸は、部品加工から金型加工まで、アルミ材から難削材まで幅広い加工シーンに対応する8種類をラインナップした。No.50の12,000回転の強力主軸（図4）は、ϕ 90mm の主軸にころ軸受を採用した高剛性仕様で、重切削の荒加工から高面品位の仕上げ加工まで1台で行うことができる。新開発グリース潤滑主軸も用意し、エア使用量を削減し環境に配慮した加工を実現する。

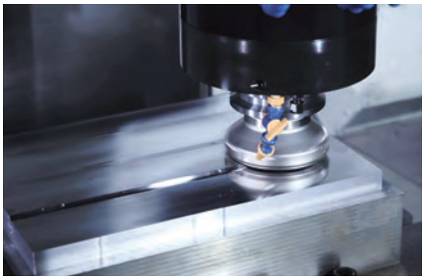


図 4：No.50 の 12,000 回転の強力主軸

切削能力の強化にあわせて、切削液・切粉処理性能を強化した。加工室内カバーの見直しにより切粉堆積を防ぎ、洗浄機能の追加や切粉搬送能力向上により、自動化のための長時間安定稼働に配慮した加工室内構造（図5）とした。

自動化オプションとして、テーブル後方に治具配管ポート13本（図6）を用意し、ロボットによる複数ワークの自動着脱など多様な自動化ニーズに対応可能とした。また、クーラントタンクの清掃頻度を激減させる「スラッジレスタンク」を用意し、スラッジを自動で効率よく回収することで安定稼働に貢献する。

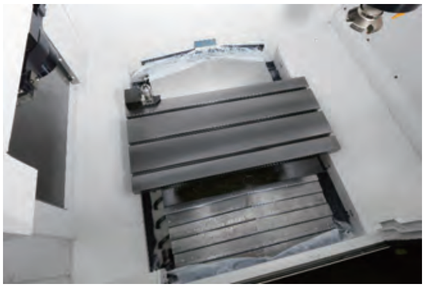


図 5：加工室内

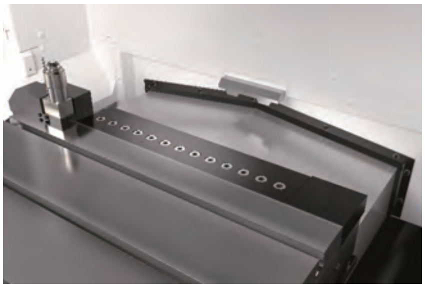


図 6：テーブル後方の治具配管ポート

3. 新世代 CNC「OSP-P500」

超高速（実加工時間の1,000分の1）、超高精度（誤差1%以下）で加工時間の見積を可能とし、高い精度の生産計画策定を支援する。OSP-P500内のデジタル空間に仮想機械を忠実再現し、現場で発生した課題をオンマシンのシミュレーションで迅速解決、オフィスPC上のシミュレーションでの高精度な事前検証により初品加工のトライ＆エラーを最小限にする。「スマートオペレーション」で、NCプログラムを知らなくても、加工準備から検査までガイドに従い図面情報を入力するだけで、誰でも簡単に加工工程を決定できる。省エネルギーシステム「ECO suite plus」を標準搭載し、周辺機器を必要な分だけ運転させることで高い生産性を維持したまま省エネ運転を可能にする。さらにデジタルツイン環境を支援する強固なセキュリティ機能を構築し、安定稼働と資産を守る。

4. 高精度と脱炭素を両立する「Green-Smart Machine」

自律的に高精度とエネルギー削減を両立し、高い生産性を有するオークマの知的工作機械を「Green-Smart Machine」と定義し、脱炭素社会の実現に貢献する。機械が自律的に高精度を安定維持する知能化技術「サーモフレンドリーコンセプト」、省エネルギーシステム「ECO suite plus」の活用、油圧・空圧レスを志向した機械構成により、暖気運転や寸法補正に必要な動作時間や空調電力の削減、周辺機器の省エネ運転を可能にする。これらの省エネ技術の搭載により、消費電力15%削減する。加工精度はそのままに、機械動作時間を短くし消費電力を最小化することが可能である。

図7：「Green-Smart Machine」エンブレム

5. まとめ

高精度を安定維持しながら脱炭素を遂行し、高生産性を実現する「MB-46V Ⅱ」について紹介した。今後もこれらの技術を適用した新機種開発を進め、社会課題の解決と生産性向上を実現していく。

分かりやすい話題の技術

No.
184

超精密門型成形平面研削盤「SGDシリーズ」のご紹介

株式会社ナガセインテグレックス
常務取締役
技術部　部長
新　藤　良　太

劇的に生産性を改善させる超精密マシン

EV 化対応、精密部品の量産・多数個取りを実現する高機能金型やスロットダイなどの長尺超精密ワークを対象として開発された SGD シリーズ。その圧倒的な加工能率と加工精度と省スペース化は発売以後多くのお客様にご評価頂いております。今回はその機械特性についてご紹介いたします。

加工時間が 1/4!?

SGD シリーズは NAGASE 独自の IGTARP DESIGN（イグタープデザイン）を採用したクラス最高の動剛性を誇る超精密門型成形平面研削盤です。

独自の多面拘束非接触油静圧案内と高出力リニアモータ駆動の組合せによりテーブルの走行精度変化が極めて少なく、1 μm/1m 以下の真直度性能により大面積の圧倒的な平面精度を実現します。

超精密成形平面研削盤 SGD-206

荷重及び加工反力が適切に、集中、分散する理想的な門型・ベッド形状を採用。さらに移動部質量の軽量化により、高速性能も向上しました。

加工点の静剛性・動剛性がともに従来機の2倍に向上。砥石軸には連続定格18.5kWの極低振動スピンドルモータを標準搭載。砥石外径ϕ610mm×砥石幅100mmの砥石まで装着することが可能で、従来の加工能率を飛躍的に向上させます。

NAGASEユーザー様では従来機と比較して加工時間が1/4に削減した事例もあります。

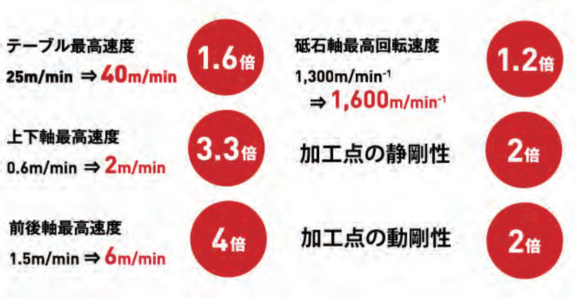


図1：生産性向上への対応（同サイズの従来コラム型機との比較）

鏡面研削加工を全自動化

高番手の超砥粒砥石を用いた鏡面加工の全自動加工に対応することができます（OP仕様）。

タッチプローブ（OP）により加工ワークの高さを測定→DDWカップツルアー（OP）による超砥粒砥石のツルーイング・ドレス→非接触センサー（OP）による砥石径測定→自動当て込み→鏡面研削加工→タッチプローブ（OP）により加工後のワークの高さを測定。

このようなサイクルを繰り返し、鏡面研削加工を全自動化するものです。さらに、マルチパーツ研削（OP）機能を用いれば、複数個のワークの加工設定が可能です。

高番手砥石を用いた鏡面加工は超砥粒砥石のツルーイング・ドレスや当て込み作業が難しく、自動化は非常に困難とされています。このシステムがあれば、時間のかかる鏡面加工を夜間オートでかけることができます。

図2：全自動鏡面研削加工の概要

専用治具なしで自在に加工する機上計測・自動研削機能

工繰り返し再現性の高い特徴を生かしたNAGASE独自の加工システムも搭載できます。（OP）平面の形状を自在に創成する「スマートサーフアップ」、任意の3D直角面を容易に創成する「スマートアングルアップ」、ひねりを自動修正する「スマートアンジュレーションアップ」。（図3）このように歪み取りや形状創成、直角創成が、専用治具なしで簡単に加工することができます。

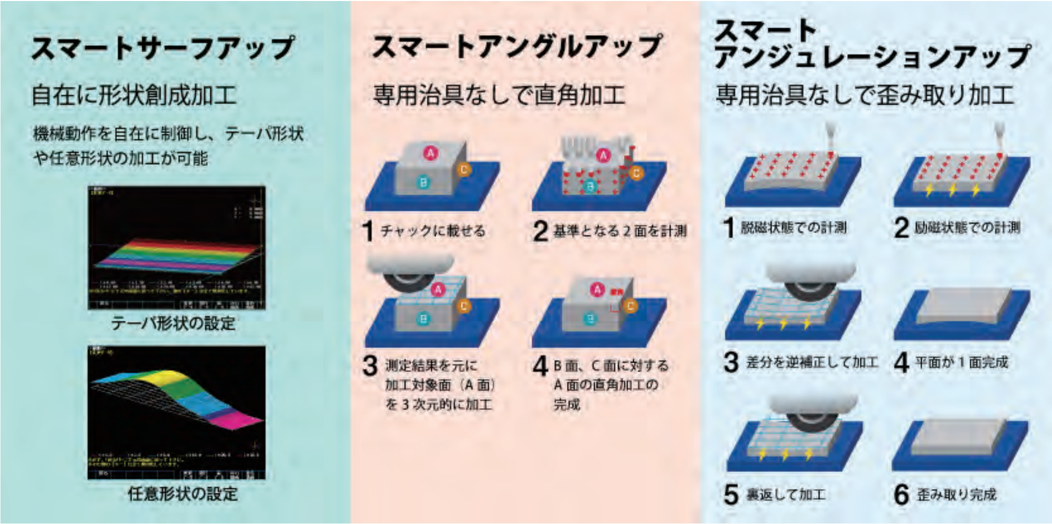


図 3：専用治具なしで自在な加工が可能な機上計測・自動研削機能

クラス最小の設置スペース

省スペースに徹底的にこだわり、従来コラム型研削盤と比較して設置面積を5割削減、機械高さを3割削減しました。同一加工面積比で業界最小の設置スペースを達成しています。機械本体を分割せずに出荷することが可能となり、出荷・据え付け工数を従来の半分以下にまで短縮しました。

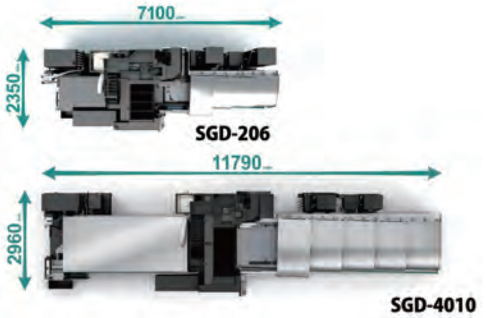


図 4：SGD-206 と SGD-4010 の機械設置寸法

計 12 台の
充実したサイズラインナップ

SGD シリーズはテーブル長さ2m・3m・4m、テーブル奥行きは600mm、800mm、1000mm、1200mm、1500mmから選択可能です。より前後幅の長いワークやテーブル上へ複数個ワークを並べた加工など、様々なワーク加工へのご要望に対応できます。

大物、長尺ワークの省人化、生産性大幅アップを飛躍的に実現する研削盤の決定版と自信をもってお勧めできるシリーズです。

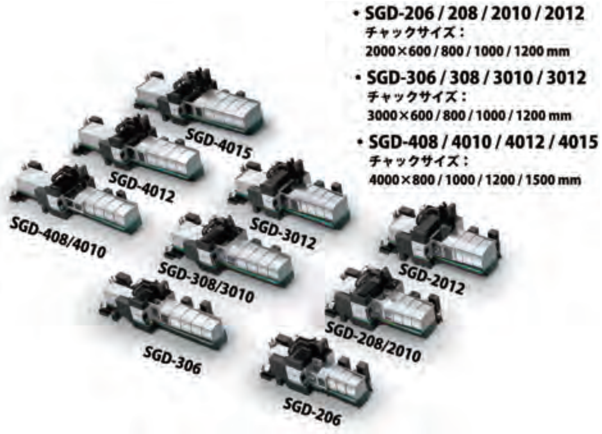


図 5：SGD シリーズのサイズラインナップ

「素心のすすめ」

著者：池 田 繁 美

（出版：モラロジー研究所）

≪この本との出会いはある講演会でした≫

自分が担当させて頂いておりますお客様にて、社員教育の一環として年一回毎回テーマを決めて講演会を実施されています。

その講演会の講師の方が『読書のすすめ』で知られます清水克衛氏でした。

清水氏は、東京都江戸川区に御座います書店の経営者でして『1冊との出会いはどんな財産よりもまさる』とのご信念の元、読書を推奨されている方です。

その講演会に参加をさせて頂き、改めて読書の素晴らしさを実感して、最後にお勧めの書籍を何冊かご紹介をされていました。その中で自分が選択して購入した本が今回ご紹介したい 池田繁美著『素心のすすめ』（モラロジー研究所 発行）です。

人は成長する中で様々と立場を変えて人生を全うします。学生から、社会人、結婚して親となります。立場が変わっても必ず対人して 他の人と繋がり共存をする生物です。

その共存が必要となる場所にてどう他の人と関わり、人生を笑顔で全うが出来るのか？

正に人生の教科書と言っても過言でもない素晴らしい言葉と力がこの本にはあると思いました。

『素直な心』の人生における重要性を唱えて、素直な心の持ち主は周囲に喜びと安心を与えて自分自身も幸せになれる、正に本当に重要な信念で今後自分が生きていく上で心がけたい大切な言葉と出会えました。

他にも『原因は内にあり』との言葉もあります。 仏教には≪因縁生起≫と教えがあります。

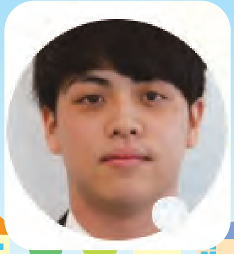
まわりに起こる出来事の原因は、全て内にあるとの意味です。自分にとって都合が悪い出来事があると他人のせいにして逃げたくなりますが、結局は自分が蒔いた種となります。

本質から目を背けても結局良い結果とはならないのです。

大げさな言い方になりますが、この本を通じて今後の自分の人生に生かせる大切な考え方に出会えた気がしました。実践する事は難しいかもしれませんが、知らないよりは『素心』を意識して生きる事が自分にとって非常に重要だと思います。

釜屋株式会社
機械部　営業第二グループ
係長
浅　田　義　治

リレー随筆



三菱商事テクノス株式会社
名古屋支社
産業メカトロニクス第一部
井　上　立　也

皆様、初めまして。三菱商事テクノス株式会社名古屋支社産業メカトロニクス第一部に所属しております井上 立也と申します。この度、三栄商事㈱の小野澤様より伝統ある「リレー随筆」のバトンを回して頂きました。

本投稿の依頼を受け、何を皆様にお伝えすべきか、考えました。仕事を進める上で大事にしている考え方、趣味、これまでの経験で得た事等、色々考えましたが、少しでも皆様の為になる情報を提供できればと思い、「生活習慣病」について記載したいと思います。

生活習慣病について、現在25歳の私が投稿しようと思ったキッカケですが一昨年の健康診断で要再検査と申告されたことにあります。再検査を行ったところ、幸い大きな病気は無く、運動不足、不摂生が原因だろうとのことでした。入社2年目で再検査を申告されるとは思ってもいませんでしたが、自身の生活を振り返ると至極当然の結果であったと思います。生活習慣を少しでも改善しようと、食事の改善、出来るだけ運動をするということを心がけた結果、昨年の健康診断では、再検査となることなく、数値的に見ても正常な値となった為、自分の意識次第で改善できることを身をもって体験しました。

コロナウイルスの影響もピーク時と比べ減少傾向であり、お客様との会食、社内、社外の方との飲み会が通常に戻りつつある昨今、日頃忙しい工作機械業界の皆様も仕事を第一優先にされるがあまり、ご自身のお身体のことは二の次となっていらっしゃる方も多いのではないでしょうか。そこで、一般社団法人 日本生活習慣病予防会から発信されております、代表的な生活習慣病と、その予防策についてご紹介させて頂こうと思います。

■主な生活習慣病

高血圧、脂質異常症、糖尿病、痛風、肥満症、心筋梗塞、肺がん 等

上記の様に挙げるとキリがないくらいありますが、これらを予防すべく、

「一無、二少、三多」という言葉があります。

【一無】「無煙・禁煙のすすめ」
【二少】「小食、食事は腹八分目に、
　　　　アルコールはほどほどに」
【三多】「多動・多休・多接のすすめ」
多動：今より10分多くからだを動かす
多休：しっかり休養～こころとからだのリフレッシュ～
多接：多くの人、事、物に接してイキイキした生活を

ハードな業界であり、忙しい毎日の中、上記を実践することは簡単ではないことは、重々承知しておりますが、健康な身体があることで、良い仕事が出来ると思いますので、忙しい日々の中で少しだけでも気にかけて頂けると、25歳の若者が健康について投稿させて頂いた甲斐があり、嬉しく思います。

最後に全く話が変わりますが、皆さまは先日行われた2023WBC（野球の世界大会）はご覧になりましたでしょうか。日本代表のメンバーを見てみると約半数が私と同年代又は、年下の選手でした。同年代の選手が世界の強敵相手に堂々とプレーし、世界一となっている姿を見て、日本人として誇らしい反面、悔しい気持ちにもなりました。同世代がここまで頑張っているので、私も健康には気を付け、これまで以上に一生懸命、まじめに、素直に仕事に邁進していきたく思います。

▶次号は安田工業株式会社 名古屋営業所の大川 怜 様にお願いをしました。人当たりが良く、いつも頼りにさせて頂いております。

私の健康法

十六リース株式会社
営業統括部　部長
稲　葉　宏　尚

今回の「健康法」の寄稿に際し、自分が健康を意識したのは忘れもしない15年程前の禁煙がきっかけだったことを思い出しました。今では一般的となった禁煙外来などは、当時まだハードルが高く、精神力で禁煙を実践しなければならない時代です。1日40本程喫煙しており、何度か失敗を繰り返し、周りも巻き込みながらも、死ぬ思いで禁煙したことを今でも思い出します。その時に「こんなに苦しい思いをしたんだから、せっかくならもっと健康になってやろう！」が原点となりました。

月並みですがまずは筋トレやウォーキングから始めました。何故か筋トレは性に合わず、一方でウォーキングは一人で歩きながら悩み事を腑に落としたり、時に星空を見ながらセンチメンタルな気分に浸りながら自分と向き合う貴重な時間として続けることが出来ました。また、高校時代山岳部であり、歩くことに抵抗がなかったのもあったのかもしれません。すると、身体的にも耐性が付いてきたのか、調子がいい時はジョギングとウォーキングを混ぜながら続け、いつからかランニングに変わっていきました。
最初は数百メートルのジョギングからはじまり、10キロ、ハーフ及びフルマラソンへと距離を伸ばしながら、現在はトレイルランニングや100キロマラソンまで走れるようになりました。

体育の成績は並で、嫌いな種目は1,500メートル走と言っていた、そんな自分がまさかランニングが趣味になり、100キロ走るようになるとは分からないものですね。
大人になってからする運動の魅力は、「体育の授業と違い、他人との競争ではないこと」「目標は自分に合ったレベルで、自分で設定を行えること」と思います。
また、メンタル面でも、目標のための練習が日々小さいながらも満足感が得られることで続けられる効果があり、設定した目標が達成できたとき、とりわけ100キロマラソンを完走した時は、いい年のおじさんが泣きながらゴールするほどの達成感、満足感を得られます。

改めて、健康法は人それぞれ人の数だけあり正解はないですが、その「継続」が出来るかに尽きるのではないかと思います。走ることは、つらくてやめたくなってしまいがちです。そのため、比較的甘めの練習目標を設定し、その目標をクリアすることで日常的に満足感を得ていることが、継続に繋がっているのかなと思います。
「身体的な健康を得るには、日々メンタル面の満足感も得ることで、継続をする」これが私の健康法でしょうか。まあ、身体的な健康もメンタル面の健康もどちらも大切ですけどね。
6月には100キロマラソンの大会があります。この「健康法」が記載される頃には、小さい目標をクリアしていると思います。
皆様も是非、身体的な健康のために、メンタル的な満足感を感じつつ継続出来ることから始めてみて下さい。

私の健康法

ニデックマシンツール株式会社
歯車機械営業部
西日本グループ
支店長付
藤　野　　修

50歳の半ばから、体力や足腰が弱まってきたことを感じ始めました。

仕事柄座り仕事や営業車での移動が多く、歩く走るなど体を動かすことがおろそかにになる生活を繰り返していました。それでも、子供が幼少期であれば外遊びに付き合うなど休日に外出することで体を動かし、心身をリフレッシュすることもできました。それでも、40代の半ばから休日にはジョギングなどで自分なりに体のケアをしてきたつもりでしたが、ついつい安きに流れ体に負荷をかけて体力を持続させる習慣を保つことができない状況でした。

ところが55歳を迎えた年に滋賀県に転勤することになりました。単身赴任でもあり意識して生活習慣を整える必要があると感じながら、生来のなまけ癖で何もしない生活を数か月送りました。そうするうちに社内の登山同好会に誘われて滋賀県を中心に近郊の山をめぐる活動を不定期に始めることとなりましたが、体力の衰えを痛切に実感する契機にもなったのです。

まずは、土、日を利用して最低でも2時間/日のジョギング兼早歩きを継続することとしました。なおかつ滋賀県には名所・旧跡も多く、訪れるに値する低山を中心に日帰り登山などを始めました。1年もすると体重も減り、身のこなしが楽になったと実感でき、次週の計画に思いをはせることで生活にメリハリがつき始めたように思います。遠隔地の出張でも体力の不安がなくなったこともあげられます。また、私自身生来臆病者なので2000m級の高山を山行することなど夢にも思っていなかったのですが愛知県の友人から誘いを受け、計画的に年に一度チャレンジするようになりました（生憎コロナ禍で行動範囲は制限されましたが）。

これまで写真やテレビの画像で見ていたものが、五感をとおして爽快感を実感できることは素晴らしいことでした。単身での生活を終え還暦を迎えた現在、自宅周辺のジョギングや低山のハイキングは継続しています。週に1回は、汗を流すことで日常のストレスも一緒に発散されると思うし、何よりも体力の衰えを最低限に抑えて、生活の質を下げないようにしています。年に一度の高山チャレンジもできる限り続けていこうと思いますし、何よりも計画を立てて実行するまでのワクワク感が楽しく、体だけでなく心にも好影響を与えてくれていると信じています。

私の好きなお店

三菱HCキャピタル株式会社
マシナリー営業部
課長代理
竹　田　　匠

　このたび、僭越ながら日工販 NEWS「私の好きなお店」コーナーへの寄稿を拝命担当することになりました、三菱 HC キャピタルの竹田と申します。よろしくお願いします。
　さて、早速ですが今回私が紹介するのは、つくば市にあります「ラーメンいっとく」でございます。

　子どもが生まれた後、妻の実家のあるつくば市に居を構えた私に、義父がおすすめしてくれたのがこのラーメン屋さんでした。
　スープは醤油ベースでコクがありながらも油が少なくさっぱりとした味わい。麺は中太麺で歯ごたえ抜群。そしてなんといっても注文が入ってから店内で炙る、肉厚のチャーシューが絶品で、このお店のラーメンを特徴づけるアクセントとなっています。

　義父にすすめられ食べに行ってからすっかりこのお店のラーメンのとりこになり、定期的に通う行きつけのお店になりました。通い始めて3年目には、全4種類のスープ、平日限定の油そばやつけ麺など一通りのメニューを食べることができました。
　つくば市に縁もゆかりもありませんでしたが、巡りあわせでこの地に住むことになりました。そんなつくばにお気に入りのお店が増えていくときの、自分がこの土地に馴染んでいく感覚が何とも心地よいのです。そんな心地よさを最初に教えてくれたのが、義父にすすめられたこの「ラーメンいっとく」でした。

外観

炙りチャーシューが特に絶品！

ラーメンいっとく
茨城県つくば市苅間106−2

会社生活に於ける私の初○○

植田機械株式会社
営業　係長
采　尾　浩　二

初めての転勤

皆様初めまして。植田機械株式会社の采尾（うねお）と申します。

新卒で植田機械に入社して7年目になる2015年から子会社である Ueda Machine Tools（Thailand）Co.,Ltd.（以下 UMT）に出向することになり、約7年間タイで勤務致しました。

旅行で海外に行ったことはあるものの、住んだことも無ければ英語もタイ語も話せないので、自分に務まるのかすごく不安いっぱいの中、日本を出国したのを覚えております。何も知らない状態でタイに行きましたが、いざ行ってみると日本食はそこら中にあり、なんでも揃っているので私生活に関してはストレスなく生活出来るかなというのが最初の印象でした。

UMT は日本人駐在員1人とタイ人スタッフ4人だけで運営しております。登記簿上では日本の社長が President、専務が Managing Director としておりますが、駐在はしていないので基本的には駐在員である私が日常の事は見ないといけませんし、私の数字＝会社の数字になるので私の数字一つで会社が黒字か赤字か決まると思うと身が引き締まる思いでした。

まず苦労したのがスタッフとの会話でした。4人のタイ人スタッフの内、総務と営業に日本語の話せるスタッフがいるのですが、日本語のレベルは高くないので話している内容が分からないことが多々あり、日本人同士で話すと1分で終わるような内容でも10分、15分とかかるので、色々な事に追われている中では最初スタッフにイライラばかりして、仕事をスタッフに振らず自分でやるようにしておりました。しかし自分一人でやっても当然効率が悪いですし限界があります。このままでは数字も上がらないし、何より会社の雰囲気も良くないと感じ、自分の中で意識を変えて「話すのに時間がかかっても、分かるまで話し合う」という風にして相手が何を言いたいのか考えながらゆっくり話をしてスタッフと向き合い、日々のコミュニケーションを大切にしました。

また、当たり前ですがお客様、メーカー様と会う人すべてが初めての方で人間関係も全くないので、どんな性格の人でどのような考え方なのか分からないですし、お客様が何を作っていて、どんな設備を持っているか、どんな課題があるかなどが分かっていないので本当に「ゼロ」からスタートし、頻繁にお客様へ訪問してそのお客様について「知る」を念頭によく会話して、何回も現場を回るのと、トラブルや修理を早く対応すれば信頼関係が築けると思うのでメーカー様に丸投げせず自分でも内容把握することを心掛け、メーカー様に徹底的に問い合わせておりました。

その他に UMT での仕事内容は日本と同様に工作機械や測定機、CADCAM、周辺機器などを販売するのですが、当然輸出入の業務も頻繁に行います。基本的には日本のメーカー様の物を販売するのですが仕入れるのはタイを始め日本、中国、台湾、シンガポール、売り先がタイだけで無くベトナム、フィリピン、ミャンマーや、タイのお客様にある設備をそのお客様のグループであるメキシコ工場へ移設するお手伝いもやりました。日本では海外業務の担当がおりますが、UMT では自分でやらないといけませんので輸出入の知識もほぼゼロだった為、乙仲業者様には何回も聞いて教えて頂きました。

まだまだ書ききれないほど、色々ありますが、何とか地道にやって7年間の駐在生活を全う出来ました。

この7年では本当に色んな人に助けてもらい、その上で自分がいるのだなと改めて感じましたし、仕入先であるメーカー様、業者様がいかに大切かという再認識を致しました。また、輸出入の知識、会社のお金の管理などを勉強させて頂き、29歳の若造に一拠点を任せてもらえたことは会社に感謝しなければいけないなと思っております。現在36歳ですが、まだまだ知らないことも多いのでタイでやったようにまずお客様の事を知って、お客様、メーカー様との人間関係を大切にして、地道に誠心誠意取り組んでお客様からもメーカー様からも「信頼」頂ける営業を目指して、ひたむきに頑張っていきたいと思います。

SE教育

2023年度日工販SE教育

2023年度の日工販SE教育各講座の開講日程を以下のとおり予定していますのでお知らせいたします。なお、詳細はいずれも募集時期に配付する「募集要項」をご確認下さい。
※「基礎講座」の募集は4月に実施済みです。

《基礎講座》

1. 講義形態および定員

①座学講義（定員なし）　　　　　　　：ビデオ配信形式
②実習講義（先着80名　希望者のみ）：日本工業大学　工業技術博物館
※実習のみの参加は不可。

2. 開講期間

①座学講義：2023年6月1日（木）正午　～　30日（金）正午
②実習講義：2023年6月16日（金）　or　23日（金）　※いずれも13：30～16：30
※テキスト等配付は5月中下旬を予定。
※全課程を修了した者に「修了証」を発行。

《SE資格取得講座》

1. 「座学講義」（Step1）の受講

①募集時期：8月
②開講期間および定員（※「ビデオ配信形式」もしくは「集合研修形式」のどちらかを選択）
　ビデオ配信形式：10月2日（月）～10月31日（火）正午　（定員なし）
　集合研修形式　：10月25日（水）～10月27日（金）　　（先着60名）
　※集合研修形式の場所は、名古屋（マザックアートプラザ）。
　※テキスト等配付は9月中下旬を予定。

2. 「通信教育講座」（Step2）の受講

前項「座学講義」を修了した者は、その後1年間の期間内で引き続き通信教育講座を受講し修了すること。
※テキスト等配付は11月中下旬を予定。
※全科目を修了した者に、申請に基づいて日工販SE認定証を発行。

《SE資格更新研修》

「座学講義」の受講（ビデオ配信形式）

①募集時期：9月
②開講時期：11月1日（水）正午～11月30日（木）正午（日工販から対象者を連絡）
※テキスト等配付は10月中下旬を予定。
※全科目を修了した者に、申請に基づいて日工販SE認定証を発行。

《永世SE資格手続き》

更新研修を終えて一定期間を経過した者に対し、事務手続きにより永世SE資格を認定する手続きを実施し、申請に基づいて日工販SE認定証を発行。対象者は日工販から連絡。募集時期は2023年度末。

日工販SE合格者 第242回発表

2023年3月・4月の合格者は8名です。

2023年3月 合格者数：4名

認定No.	会社名	合格者名
23-32-3892	釜屋㈱	赤塚　奎哉
23-32-3893	甲信商事㈱	古屋　雅渡
23-32-3894	㈱東陽	川村　哲平
23-32-3895	オークマ㈱	高田　慎

2023年4月 合格者数：4名

認定No.	会社名	合格者名
23-32-3896	三菱商事テクノス㈱	川村　優太
23-32-3897	三菱HCキャピタル㈱	外村　雅也
23-32-3898	三菱HCキャピタル㈱	深澤　駿太
23-32-3899	㈱山久	野瀬　佑介

お知らせ

日工販ニュース表紙写真の公募について

日工販事務局からのお知らせです。

日工販ニュースを楽しく、また手に取っていただきやすい機関誌にしたいという思いから、表紙にその季節折々の写真を掲載することとしています。

そこで、以下要領により読者の皆様から表紙写真を公募しますので奮ってご応募ください。

募集要領

1. 対象写真

年5回の発刊月（5月、7月、11月、1月、2月）に合わせた写真（1枚以上）

※複数枚ご送付いただいた場合は、選定は事務局にて実施します。

※被写体は「風景」にこだわりません。季節を感じさせるものであれば何でも可。

2. 送付手段

以下要領により、電子データにてご送付をお願いします。

①日工販事務局宛てメールに添付：　jmtda@nikkohan.or.jp

メール件名：　「《日工販ニュース》表紙写真（応募）」

②大容量ファイル配信ツール（「FireStorage」など）等の利用で送付

③USBやCD等による送付（媒体返却を希望する場合は「返却要」のメモを同封してください）

※上記いずれの場合も、以下事項を必ず添えてください。

- 「撮影された方の会社名・所属部署・役職・氏名」　• 「掲載希望発刊月」
- 「撮影した場所や対象（風景の場合）、あるいは写真のタイトル」

3. 採否の連絡

採用された写真をご送付いただいた方には、当該写真が掲載された「日工販ニュース」および御礼としてQUOカードを送付させていただきます。

採用の連絡は発送を以って代えさせていただきますが、後々の掲載に備えてご送付いただいた写真は事務局でストックしていくため、適用月に掲載されない場合でも不採用の連絡はいたしませんので予めご了承ください。

感動したスポーツの名場面

「ラグビーW杯」

昭和リース株式会社
機械設備営業部　部長
山　本　茂　樹

侍 JAPAN、WBC 優勝おめでとうございます。

ダルビッシュ選手が合宿初日から参加しチーム一丸の雰囲気を作り、予選リーグを全勝で突破。準決勝では敗戦ムードの中、吉田選手の同点 HR から村上選手のサヨナラヒット。決勝戦では大谷選手の二刀流での大活躍と大変感動しました。

2023年は、私にとってもう一つ大きなスポーツイベントが秋に開催されます。それは、ラグビー W 杯フランス大会です。

その前に、2019年日本大会での日本代表（桜のジャージ）の活躍を思い出してみましょう。

新宿のスポーツバーでイングランドサポータに貰ったピン

予選リーグ４戦全勝（当時世界ランク２位のアイルランドに驚きの勝利)、決勝トーナメントでは優勝した南アフリカ（前回大会では奇跡の勝利）に敗れ、ベスト８で終わりましたが、たくさん名場面があった中で最も感動したのは、決勝トーナメント進出をかけたスコットランド戦のあの場面です。

７－７の同点で迎えた前半25分、敵陣22m ライン付近から FW と BK が一体となり何度も繋いだボール（ラグビーの精神：One For All、All For One）を FW 稲垣選手がゴールポスト中央に飛び込みトライしたあの瞬間のことを思い出すと今でも興奮してきます。

後半はやはりトライを奪われ追い上げられましたが、ノーサイドのホイッスルが鳴り勝利しました。

当時、札幌に勤務していた私はススキノの夜の街へと繰り出し、美酒に酔いしれました。

フランス大会もあの感動を再び味わえることを楽しみにしています。

みなさんも応援を宜しくお願いします！

オーストラリア VS フィージー戦（札幌ドーム）

事務局だより

第54回通常総会のご案内

下記のとおり、当協会の第54回通常総会を開催いたしますのでご案内申し上げます。
ご予定の程よろしくお願い申し上げます。

記

期　　　日	：2023年6月7日（水）
会　　　場	：ホテル雅叙園東京
総　　　会	：13：00 ～ 13：40
記 念 講 演	：14：00 ～ 15：30
懇親パーティ	：16：00 ～ 18：00

※時間帯は若干前後する可能性があります。
　詳細は別途送付予定のご案内文書をご確認下さい。

今後の行事予定

2023年

第54回通常総会・講演会・懇親会	6月　7日（水）	ホテル雅叙園東京
政策委員会・定例理事会	7月　6日（木）	東京・専売ホール
政策委員会・定例理事会	9月　6日（水）	大阪・マイドームおおさか
政策委員会・定例理事会	11月　8日（水）	名古屋・マザックアートプラザ
東部地区講演会・忘年懇親会	12月　5日（火）	KKRホテル東京
西部地区講演会・忘年懇親会	12月　6日（水）	新大阪江坂東急REIホテル
中部地区講演会・忘年懇親会	12月11日（月）	メルパルク名古屋

2024年

定例理事会	1月10日（水）	第一ホテル東京
賀詞交歓会	1月10日（水）	第一ホテル東京

海外だより

From China

「人との繋がりを大切に」

上海北川鉄社貿易有限公司
Kitagawa Corporation (Shanghai)
道　下　直　輝

私は株式会社 北川鉄工所のグループ会社の中国現地法人、上海北川鉄社貿易有限公司の駐在員として2016年11月より上海市に駐在しております。

海外勤務や海外業務の経験も無く、生活も含め全てが初めての単身中国駐在の始まりで本当に仕事ができるのか不安からのスタートでした。

先ず驚いたのが私の住んでいる長寧区は日本人が非常に多く、お年寄りの方から子供さんまでが住んでおられ、歩いていてもあちこちから日本語が聞こえ安心できる小区であり、日系企業様も多く日本料理屋から日系スーパーマーケットもあり生活し易い所で安心から中国生活の始まりでした。
(2022年末：上海に住む日本人約40万人です)

上海北川鉄社は上海と広州に事務所を構え、親会社の商品（工作機械の周辺機器チャック、NC円テーブル）等を輸入、中国の瀋陽には別会社（製造工場）があり、NC円テーブルを購入し中国市場に販売とサービス展開をしております。

上海事務所ビル

広州事務所ビル

赴任当初は売上比率は日系・中系で割合いは日系がウエイトを占めていましたが、更なる販売網の展開が必要と考え、中系の販売比率の拡大を目指し営業活動のシフトを変更致しました。

現在では販売比率は、中系企業様との取引きが逆転しております。

中国は広大であり、かなりのポテンシャルの高い市場であります。我々の会社の人員も少なく、活動にも限界があり更なる売上げ増を狙うには中系企業様との取引きが必須と考え、協働して商品拡販をして頂ける商社様との関係構築を強化致しました。国が違うこともあり考え方ややり方も異なり始めは抵抗はありましたが、関係ができると家族的なお付き合いも出来始め良い関係が築けるまでになりました。いつも白酒で酔わされていますが・・・

中国市場での引合いは規模が大きく、大口案件であれば百台を超えることもありいち早く正確な情報を入手する事が求められます。親会社（日本側）との生産枠確保や納期調整も含め大変ではありますが、親会社のバックアップもあり心強く受注獲得に繋げられております。

中国大手企業様への採用獲得は、協働して下さっている商社様の人脈なしでは成立致しません。

重要となるのが人との繋がりだと感じ感謝の気持ちでいっぱいです。

2020年の春節より武漢にてコロナ感染が始まり、感染拡大により2022年４月・５月の２ヶ月間の上海ロックダウン（弊社の日本人スタッフは上海出張から広州に戻れずホテルに２ヶ月間の隔離を経験）、国慶節以降の感染爆発により感染予防は徹底しておりましたが残念ながら2022年の12月のコロナ緩和の発表後に弊社も全員感染してしまいました。

私は40℃越えの高熱３日間、味覚・嗅覚障害２週間・喉の痛み・咳と辛い経験をしました。

コロナを振り返ってみると大変な３年間でしたが、住まいのマンションでの助け合いや物資の譲り合いなど人種を問わず皆さんと耐え抜けてこれた事も感謝しております。

現在はコロナ感染も解消しており国内移動もコロナ以前の状態にもどり各地で活気が戻っております。

今後も色々な方々との出会いを大切にし、日々の業務に励んでいきたいと考えています。

『外灘(ワイタン)夜景』
観光客に大人気!
上海一とも言われる

辛くて痺れる
『火鍋』

白酒
『茅台·五粮液』

自社紹介

我が社の履歴書

フリガナ	アカザワキカイカブシキガイシャ
社　名	**赤澤機械株式会社**

本社所在地	創業	資本金	役員
〒570-0041 大阪府守口市東郷通り ２丁目10番６号	昭和28年８月	6,500万円	代表取締役 赤澤　正道

弊社　赤澤機械株式会社は　1953年（昭和28年）に　赤澤 一市が創業し（設立 昭和34年）本年で創業70周年を迎える事になりました。

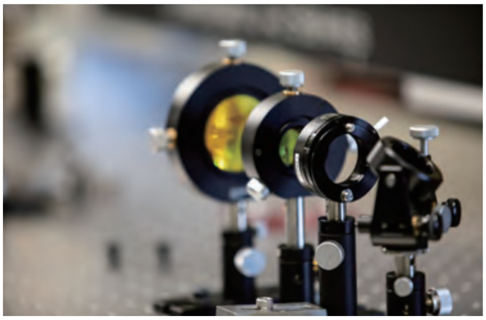
現在の人員構成は　平成元年に創業者の後を継ぎ代表取締役となった赤澤 正道を筆頭に　本社営業部 14名　東大阪営業所（中古部）7名　東京営業所 3名　経理部 3名の総勢28名にて活動しています。また3月1日より　新たに本社営業部に中途採用者の２名が加わり総勢30名となりました。

設立時300万円の資本金は　増資を繰り返し昭和59年に6,500万円となり現在に至っています。

昭和49年に現在の大阪府守口市に移転した本社営業部では　新品工作機械を中心に販売いたしております。工作機械以外に　平成７年より取り扱いを開始した射出成型機は　弊社で周辺装置をアッセンブリした販売を行っています。本社営業部では　大阪府下を中心に近畿圏の中小企業のお得意先に工作機械の販売を行っていますが　北は北海道から南は九州までのお客様にも対応させて頂いております。

14名中４名は　平成19年より開始いたしましたファイバーレーザ及び半導体レーザを中心に発振器単体販売だけでなく　周辺の駆動装置（ロボット、高速ステージ）　ヘッド（溶接、切断、

レーザシステムの販売



加工ラボラトリー

スキャンヘッド）を含めたレーザシステムのご提案・販売を行っています。ガルバノレーザ加工を中心に実物ワークの加工検証可能なラボラトリーを設置しています。お客様のアプリケーションにあった加工条件をお客様立会いのもと実証可能です。又　年間2,000台以上のファイバーレーザ加工機を生産しているBORDER（ボーダー）社（中国）の板金及び鋼材加工用レーザ加工機の取り扱いも行っており　本社にデモ加工機も設置してお客様に見学頂ける様にしています。

東大阪機械団地内にある東大阪営業所（中古部）では　約100台の中古機械の在庫を持ち買取・販売を行っています。

昭和39年に開設した東京都墨田区にある東京営業所では　約120台の中古機械をはじめ数十台の機器類を在庫し買取・販売を行うと同時に新品工作機械の取り扱いも行っています。

また　古くなった工作機械や射出成型機でメーカー対応が出来なくなった　プリント基板の修理及び電子機器・サーボアンプの修理を行う事業も行っておりこちらも月に数件のお問い合わせを頂いています。

最近は工作機械以外にも　SDGsや脱炭素（カーボンニュートラル）と言った各企業が対応すべき課題に対して　太陽光や大気を反射させ熱を放射（放射冷却）するシートを　屋根や分電盤などに貼ることで室内の温度を下げ　冷却に使用する電力を大幅に下げられる事が出来る商品の取り扱いも開始致しました。

これからも　工作機械のみに捉われことなく　各企業（工場）様のお役に立てる商品を提供出来る企業を目指して日々精進してまいります。

赤澤機械株式会社
本社営業部　営業一課
課長
天 知　勇

統計資料

工作機械・FA流通動態調査1

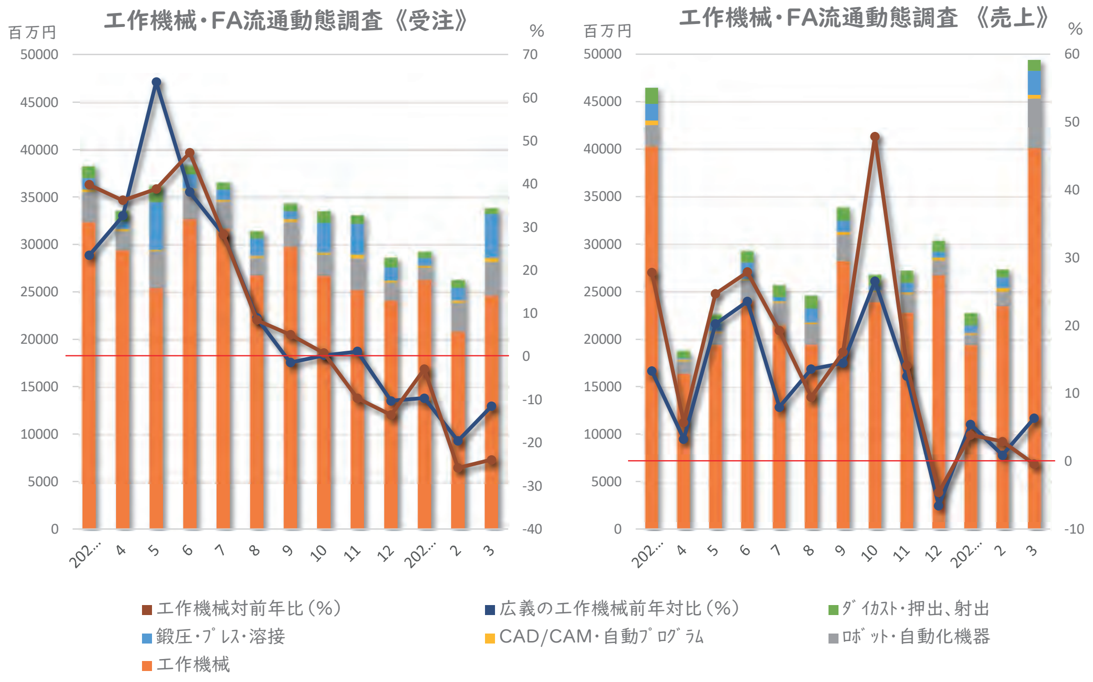
統計1　　単位）百万円

37社合計		受注					売上				
調査月次		2023/03	前月比	前年比	2022/04 ～2023/03	前年度比	2023/03	前月比	前年比	2022/04 ～2023/03	前年度比
広義の工作機械	工作機械	24,650	18.0%	-24.0%	324,079	4.5%	40,156	71.0%	-0.4%	285,850	11.5%
	ロボット・自動化機器	3,572	19.1%	12.9%	31,330	24.4%	5,170	235.1%	134.8%	24,179	-9.0%
	CAD/CAP・自動プログラム	422	62.2%	69.4%	3,024	-15.7%	400	6.6%	-20.4%	2,932	-8.1%
	鍛圧・プレス・溶接	4,626	235.2%	279.8%	25,616	81.7%	2,516	115.6%	44.7%	12,394	23.9%
	ダイカスト・押出、射出	613	-22.8%	-51.1%	11,238	-29.3%	1,152	38.8%	-31.7%	13,673	5.5%
	小計	33,883	28.7%	-11.5%	395,287	7.1%	49,394	80.3%	6.3%	339,027	9.7%
工作機械以外の扱い商品		26,994	-5.4%	-23.0%	352,471	-24.6%	44,129	51.3%	1.8%	347,723	11.3%
合計		60,877	11.0%	-17.0%	747,757	-10.6%	93,523	65.3%	4.1%	686,750	10.5%
従業員数		1,589	-0.1%	1.6%							

統計2　　単位）百万円

28社合計		受注					売上				
調査月次		2023/03	前月比	前年比	2022/04 ～2023/03	前年度比	2023/03	前月比	前年比	2022/04 ～2023/03	前年度比
内訳	直販	26,330	18.1%	-15.6%	285,624	-7.7%	39,015	93.3%	8.7%	258,296	10.8%
	（内リース）	1,015	236.4%	24.2%	9,414	4.8%	1,076	23.4%	-7.7%	9,753	10.6%
	卸	8,402	8.3%	-34.9%	114,850	-5.7%	13,245	55.4%	-17.3%	105,020	12.6%
	輸入	2,932	9.0%	-21.3%	31,847	-40.9%	3,964	37.6%	15.9%	29,548	8.7%
	輸出	12,273	-5.3%	-14.1%	191,485	-22.2%	20,462	19.5%	-1.5%	186,872	16.8%
	（内間接輸出）	1,009	-25.9%	-47.9%	20,702	-55.0%	1,810	58.2%	-71.2%	21,682	-15.0%
従業員数		1,115	-0.2%	3.1%							

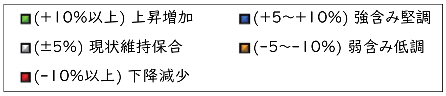
注：会員80社中、統計1に関しては37社、統計2に関しては28社の回答を得て集計したものである。
　　折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比であり、データ提供会社総数は40社である。



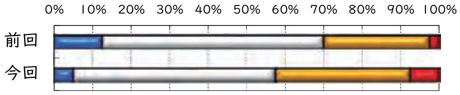
工作機械・FA流通動態調査2

今回2023年4月調査／前回2023年1月調査対比

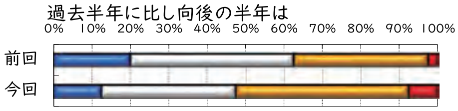
1. 工作機械全体見通し



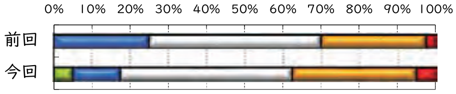
現状に比し直近(1〜3ヵ月)は



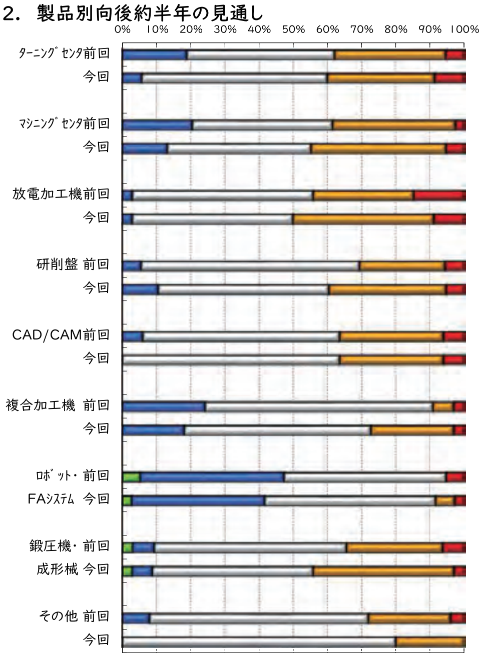
過去半年に比し向後の半年は



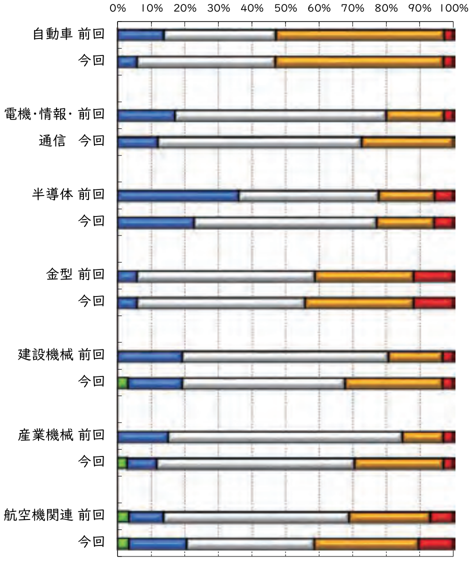
過去1年に比し向後の1年は



2. 製品別向後約半年の見通し

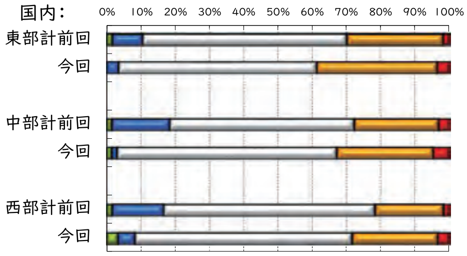


3. 市場別向後約半年の見通し

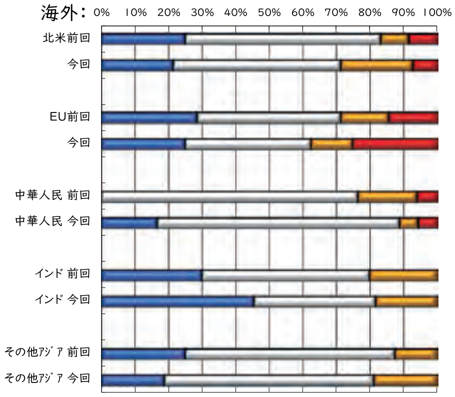


4. 地域別向後約半年の見通し

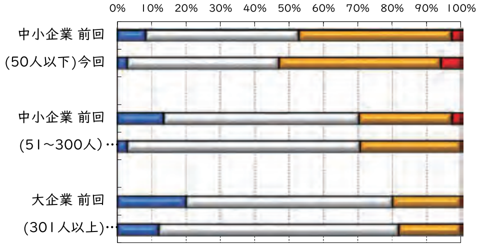
国内:



海外:



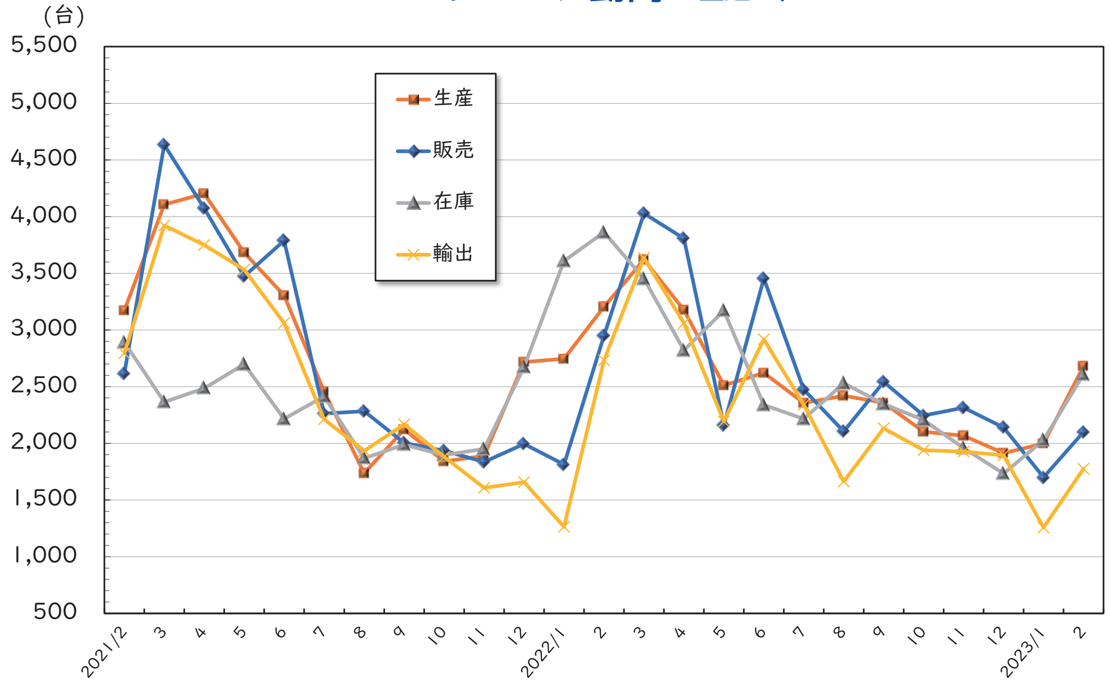
5. ユーザー規模別向後約半年の見通し



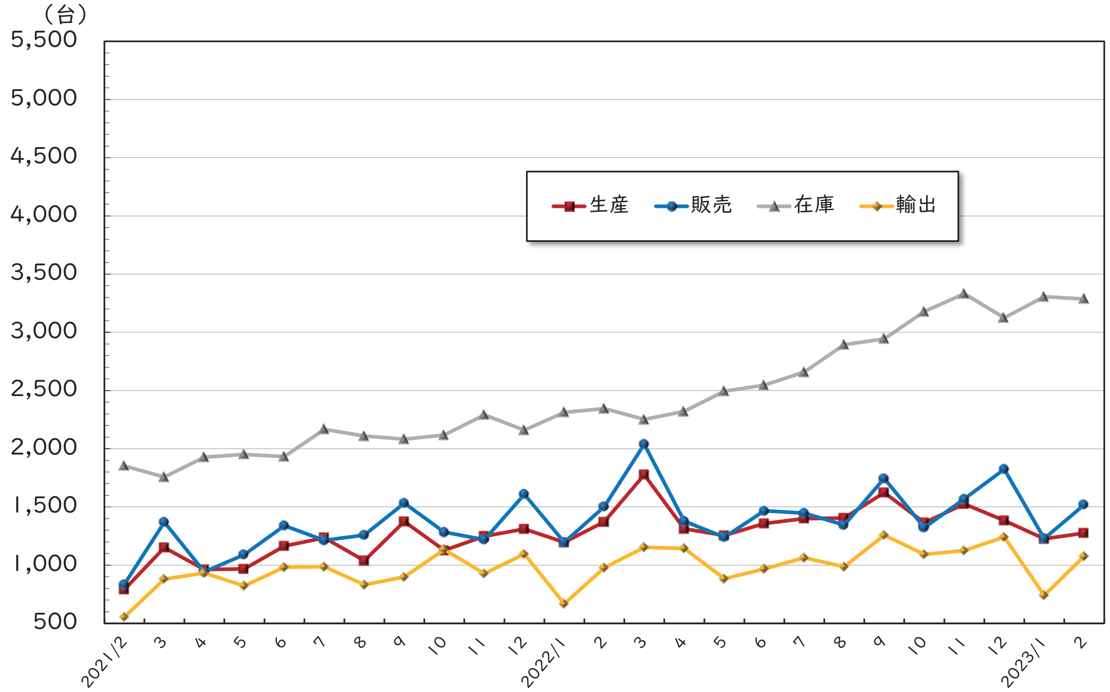
注:調査データは日工販ホームページをご覧下さい。

見てわかる　3年間の代表2機種のトレンド

マシニングセンタ動向 ～直近3年～



NC旋盤動向 ～直近3年～



出所：経済産業省「生産動態集計」、財務省「貿易統計」

工作機械業種別受注額(2023年3月)

2023年4月20日発表

(単位：百万円)

需要業種 ＼ 期間	2022年 累計	前年同期比	2022年10月～12月 累計	2023年1月～3月 累計	前期比	前年同期比	2023年1月～3月 累計	前年同期比	2023年3月分	前月比	前年同月比
1. 鉄鋼・非鉄金属	19,675	109.4%	5,172	4,917	95.1%	97.5%	4,917	97.5%	1,297	109.6%	77.0%
2. 金属製品	50,565	125.6%	11,474	11,366	99.1%	93.5%	11,366	93.5%	5,456	165.8%	116.2%
機械製造業 3. 一般機械	243,465	121.4%	52,327	56,612	108.2%	90.7%	56,612	90.7%	21,762	129.8%	87.2%
(うち金型)	34,462	128.7%	6,309	8,454	134.0%	91.2%	8,454	91.2%	3,505	140.5%	107.8%
4. 自動車	134,719	117.0%	28,683	24,610	85.8%	80.9%	24,610	80.9%	8,800	111.3%	70.6%
(うち自動車部品)	92,957	110.6%	20,616	17,923	86.9%	86.8%	17,923	86.8%	6,463	121.9%	83.3%
5. 電気機械	56,982	126.6%	11,532	12,552	108.8%	68.4%	12,552	68.4%	3,637	101.1%	62.1%
6. 精密機械	29,525	120.9%	6,241	6,507	104.3%	72.0%	6,507	72.0%	2,239	130.1%	55.1%
5～6. 電気・精密計	86,507	124.6%	17,773	19,059	107.2%	69.6%	19,059	69.6%	5,876	110.5%	59.3%
7. 航空機・造船・運送用機械	18,856	117.7%	5,672	5,035	88.8%	101.9%	5,035	101.9%	1,832	130.4%	72.1%
(うち航空機)	5,792	120.9%	1,962	2,218	113.0%	182.4%	2,218	182.4%	804	125.6%	377.5%
3～7. 小計	483,547	120.6%	104,455	105,316	100.8%	84.1%	105,316	84.1%	38,270	121.9%	76.7%
8. その他製造業	26,245	98.0%	5,558	4,940	88.9%	86.0%	4,940	86.0%	1,576	90.5%	77.3%
9. 官公需・学校	2,205	30.0%	573	225	39.3%	46.5%	225	46.5%	77	175.0%	92.8%
10. その他需要部門	14,094	133.2%	3,603	4,141	114.9%	127.1%	4,141	127.1%	2,318	233.4%	165.6%
11. 商社・代理店	6,900	109.8%	1,652	798	48.3%	56.0%	798	56.0%	375	133.5%	81.7%
1～11. 内需合計	603,231	118.2%	132,487	131,703	99.4%	85.9%	131,703	85.9%	49,369	126.8%	82.0%
12. 外需	1,156,370	112.1%	283,305	262,498	92.7%	89.0%	262,498	89.0%	91,650	107.6%	86.4%
1～12. 受注累計	1,759,601	114.2%	415,792	394,201	94.8%	88.0%	394,201	88.0%	141,019	113.6%	84.8%
(内NC機)	1,727,473	114.0%	408,638	388,378	95.0%	88.3%	388,378	88.3%	139,003	113.8%	85.3%

需要業種 ＼ 期間	2022年 累計	前年同期比	2022年10月～12月 累計	2023年1月～3月 累計	前期比	前年同期比	2023年1月～3月 累計	前年同期比	2023年3月分	前月比	前年同月比
販売額	1,568,350	122.2%	411,901	441,920	107.3%	112.9%	441,920	112.9%	193,208	141.6%	109.9%
(内NC機)	1,544,745	122.4%	406,116	435,621	107.3%	113.0%	435,621	113.0%	190,131	141.3%	110.2%
受注残高	896,813	127.9%	896,813	849,094	94.7%	112.1%	849,094	112.1%	849,094	94.2%	112.1%
(内NC機)	869,611	127.6%	869,611	822,368	94.6%	111.7%	822,368	111.7%	822,368	94.1%	111.7%

出所 (一社)日本工作機械工業会

第303回定例理事会議事録

日　　時：2023 年 3 月 1 日（水）14:30 ~ 16:50
場　　所：大阪産業創造館　5 階研修室 A/B（Web 併用）
出 席 者：会長、副会長 2 名、専務理事、理事 21 名、監事 3 名

会長挨拶の後審議に入った。

［付議事項］

（1）2022年度決算見込み：
専務理事より説明：内容について全理事異議なく承認。

（2）2023年度日工販会費の臨時措置継続
専務理事より説明：来年度の会費は暫定会費を 2023 年度にも継続適用することを提案し、全理事異議なく了承された。4 月から暫定適用するが、会費は総会決議マターのため正式には総会決議で決定。

（3）2023年度事業計画：
専務理事より説明：議案は前年度を踏襲した内容。会長から①期中における遂行案の積極的提案、②各地区での事業発案、につき依頼があり全理事異議なく了承。

（4）日工販役員選挙：
専務理事より説明。全理事異議なく了承。

（5）教育図書印刷用プリンター更新：
専務理事より現行の理想科学工業社製プリンターを導入すべき理由を説明し、全理事異議なく了承。

［報告事項］

（1）東部地区：

1. 東部地区懇親ゴルフ会：（豊田委員長）
1 月 21 日開催。時期的な問題もあったのか参加 12 名であった。寒さと強風の中我慢大会の様相を呈したが皆さん怪我もなく懇親ができたと考える。

2. 東部地区工場見学会：（豊田委員長）：
2 月 20 日～ 21 日開催。3 年ぶりの見学会。1 日目 24 名、2 日目 19 名の参加。訪問先は芝浦機械株式会社（沼津・御殿場）及び株式会社牧野フライス製作所（富士勝山・厚木・厚木スピンドル工場）。芝浦機械株式会社では超精密マシニングセンタ（空気静圧軸受採用）の詳細説明があった。株式会社牧野フライス製作所では、ロボットやパレット搬送装置等の自動化が社内の設備としても進んでおり、以前と比べ様変わりした印象。両社ともに精度の追求に力を入れている。

（2）流通動態調査（1月）：
専務理事より説明：景況感は前回調査に比べ明らかに悪化。特に自動車・半導体は様変わり。海外地域別では北米が悪化、一方 EU は強含み・弱含み共に減、中国も同様の傾向、その他アジアは強含み弱含み共に増。

第112回教育委員会議事録

日　　時：2023年3月2日（火）15:00 ~ 16:50
場　　所：日工販会議室
出 席 者：委員長、委員6名、事務局2名

※3名の委員が交代となったため、全委員の自己紹介を行い、委員長ご挨拶後審議に入った。

［議　題］

1. 2022年度　総括

1）「日工販行事実績」資料を基に、事務局から報告。

2）「日工会受注実績と受講生実績」資料を基に、事務局から報告。

3）「日工販 SE 教育アンケート結果」資料を基に、事務局から報告。

委員から以下のご意見が出された。

- 更新研修における「難しい」との受講生評に対しては、「資格を更新する」という上位グレードにあって、「内容がわからないことがわかった」ということに意義も見いだされるため、学習をさらに促すという意味からもこのまま継続して行ってもらいたい。
- 受講形式について、ビデオ配信形式の場合は出張旅費が省ける、集中できる、反復学習できるといった肯定的意見が多く見られる。一方、集合研修の場合は学習時間があらかじめ決められているので集中できるという積極的な意見の他、ビデオ配信形式ならいつでも学習できるとはいえ、かえって業務多忙のため実態的に学習時間を取れないので、集合形式を選択する受講生も存在。
  集合研修はコロナ感染などの外部環境に左右されるため、集合研修をやりたくてもできない場合があると思うが、いずれにせよ受講生の皆さんの評価を得た内容に沿って対応（web でのビデオ形式がよいとする受講生意見）していくことが妥当なのではないかと考える。
- 「3D プリンタ」「工作機械業界の変化」「工作機械の詳細な用途例紹介」「治具構成、設計」「半導体の工程」「製造業の海外動向」など個別の要望テーマはあるものの、業界会社への入社を目指す者が減少しているとか、工作機械業界から離脱していくといった各社から出ている声を踏まえると、むしろ業界人としての誇りや夢を講義の中で話すなど、この業界に魅力を感じてもらう材料を提示していくことも大事。
- 挙げられている「扱って欲しいテーマ」は何らかの形で現状の講義の中にも違った形や言葉で取り入れられているもの。内容が充分わかっていると思っていた講義でも知らなかった内容は必ず何かしらあるものと思われる。
- 教育講座なのだから、基本に立ち返って知識をしっかりと植え付ける機会の提供ということが重要であって、業務上知っている題材であっても、改めて講義で教われば知らなかったことも出て来る。

前述した意見なども踏まえ、結論として、一連の講義はしっかりと聞いてもらうことを念頭に、現在ご対応頂いている講師陣に内容をお示しして取り入れ可能なものがあれば採用してもらう方向。
また、要望の多いテーマなどについては、希望者を募ってご視聴いただけるような個別講演会のような手段を講じることも今後検討。

4）「講師の推移」資料提示し共有

5）「2023年度 SE 教育開講に向けた事前調査」資料に基づき事務局から報告

回答社数：45 社

- 基礎講座　108 名（17 社）
- SE 資格取得講座　106 名（25 社）
- SE 資格更新研修　66 名（19 社）

2. 2023年度　予算

1）「2023年度 SE 教育予算算定の考え方」資料に基づき事務局から説明

- 各講座とも、内容・受講料につき 2022 年度の形式を踏襲することを基本とすることで全委員了承。

《講義態様》

- 基礎講座　→座学：ビデオ配信形式、実習（希望者のみ）：日工大における見学対応
- SE 資格取得講座　→座学：ビデオと集合の併用。集合場所は名古屋。
- SE 資格更新研修　→座学：ビデオ配信形式

2）「2023年度募集要項」雛形資料に基づき事務局から説明

- 全委員了承。

3）「SE 認定資格　受講延長対応者一覧」資料に基づき事務局から説明

- ビデオ配信形式が導入されている現状を踏まえ、更新研修をビデオで受講していただくこととする。
  なお、今年以降 3 年以内に受講していただく（経過措置として 3 年の猶予を持たせる）ことで全委員承認。
  ※「延長中」→海外駐在者が国内研修を受講できないため公平性を期す観点から受講期限を「延長」としている対応（SE 資格の更新研修受講を一旦延長にしている者が一定数存在）。

3. その他

1）「大型複合機リプレースについて（選定業者の決定）」：3/1 理事会決定事項の報告

- 講座テキストの製本用プリンタのリプレース：保守期限満了に伴う措置。

2）提案力強化講習（委員長から概略説明）

日工販 SE 教育は、日本工作機械販売協会として大きな事業となっており、経産省も認知して日工会にもご理解をいただいている。航空や宇宙などとフィールドは広がってきているが、日工販 SE 教育はやはり基本的な知見修得を主目的にこれまでもやってきたし、今後もしっかりとやっていく方向で考えている。

2014 年に提案営業力を高める・技術提案力を高めるために、向上研修会という講習を開講した経緯がある。

こうした過去の取組みも踏まえ、今後もこういった（外部講師を招聘しての）研修を調査・検討していきたいと考えている。

第129回調査広報委員会議事録

日　　時：2023年3月16日（木）15:40 ~ 16:45
場　　所：日工販会議室
出 席 者：委員長、委員4名、事務局2名

[議　事]

(1) 2022年度総括

事務局から資料に基づき報告。

① 2022年度予算対実績（見込）報告

※日工販NEWSのページ数もコロナ禍前の状況に戻りつつあり、着地見込みは予算とほぼ同程度になる見込み。

※今年度は、JIMTOF開催年でもあり、座談会を開催。

※HP（ホームページ）管理区分ではサーバレンタル料を始めとして年間ベースで毎年同程度の費用が発生。

②日工販NEWS寄稿実績（一覧）

(2) 2023年度活動方針

事務局から説明。全委員とも了承。

①日工販NEWS寄稿予定（一覧）

■各題材とも、東中西の順に選定。過去寄稿一覧を資料として提示。

■「話題の技術」コーナーへの寄稿はこれまで企業プロモーションの位置づけから、寄稿に対する謝礼はしていないが、寄稿促進の観点から2023年度以降は謝礼対象に含める。

② 2023年度予算方針

■前項「話題の技術」に対する寄稿謝礼分を追加。その他の経費は前年度並み。

■HP管理区分においては、2023年度に「各種イベント出欠報告等サイト」の構築を予定したい。

※現在、イベント出欠報告等についてはメールorペーパーベースで実施しているが、会員の報告事務にかかる利便性向上と、インターネットにおけるセキュリティに充分配慮しながら設計・経費見積りを行い、構築に繋げることとする。
なお、仕様・費用を含め、事務局検討内容をメールにて別途委員にご審議いただき、構築如何について総合的に判断の上、理事会に諮る。

■調査広報活動方針について

- JIMTOFにおける協賛について検討。

東部地区工場見学会

2020年2月開催以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止していた工場見学会を、12社24名の地区会員の方々がご参加され、以下日程にて3年ぶりの開催となりました。

なお、両日ともに天候は快晴の中、移動する車中からの景色に魅了されながら有意義な2日間を過ごせました。

(株)牧野フライス製作所の社屋屋上から見た富士

1. 日　時：

2023年2月20日（月）～21日（火）

2. 訪問先：

2月20日（月）：9:30 三島駅集合 → 芝浦機械（株）（沼津・御殿場）→ → （株）牧野フライス製作所（富士勝山）→ 懇親会（泊）

2月21日（火）：（株）牧野フライス製作所（厚木事業所）→ 昼食→ → （株）牧野フライス製作所（スピンドル工場）→ 町田駅解散（15：00）

芝浦機械(株) 沼津本社

(株)牧野フライス製作所 厚木事業所

東部地区情報交換会

日　時：2023年3月10日（金）　15：00 ～ 17：00

場　所：専売ビル8F　専売ホール

出席者：	正会員	15社 21名
	賛助会員（メーカー）	16社 25名
	賛助会員（リース）	3社　5名
	計	34社 51名
	懇親会出席	32社 49名

情報交換会の様子

地区委員メンバー
（右から3番目が豊田委員長）

豊田東部地区委員長のご挨拶の後、最近の市場動向と今後の見通しについて情報交換が行われました。懇親会は川﨑委員のご挨拶と乾杯ご発声により開宴となり、林委員の中締めにて散会となりました。

情報交換内容要旨

《正会員》

春先から多少動きは出てきているものの、半導体関連では生産が追い付かない状況は解消されつつも納期遅延がみられる。国内地域別では西高東低という感触があり、受注についてはここにきて若干戻りつつあるが昨年の秋口から下がり気味、売上については対計画並みといった状況。ただ、引合の状況が多少長くなっているように見えており、先行きを懸念する声も。

売上への影響として、自動車の生産形態によるところが比較的大きいことや中国に関して言えば新型コロナウイルス感染に伴うロックダウンの影響を被ったことなどの意見が出された。なお、今後出て来ると思われる EV への期待感はありながらも、まだまだこれからだろうとの評。

《賛助会員（メーカー）》

昨年 JIMTOF が開催され、今後に向けてリアルな交流の場に繋がって欲しいという期待感は持っているが、思ったより数字に結びついていない。受注では国内に対して海外の方が好調。顧客ニーズも労働者人口の減少に伴う自動化・省人化要望、電気料金の高騰に伴う省電力要望が出てきており、これらニーズに応えていきたい。また引き合いはありながらも昨年暮れあたりから数字が落ち込んでおり、補助金も含めて一巡した感触を持っている。売上は何とかあるものの、半導体関係、ウエハー関係は現状引合はあっても受注に結びつかない。今後は EV 関係の引合が増えて来ることに期待。また、機械納期の長期化に伴い、その機械を希望されるお客様からの受注がなかなかとれないという現状も見えている。一方で、景況感的には少し長い停滞、足踏み感を感じているとしながらも、工作機械の受注状況としてはまあまあ好調に推移しており堅調だという意見も出された。

今後の動向としては環境面に配慮した工作機械、自動化・省人化に寄与できうる協働ロボットなどの技術が伸びてくるのではないかと期待している。

《賛助会員（リース）》

事業再構築補助金制度に関連した内容が報告された。これまでの主流となっていた大型機買取・小型機リースの態様から、第６回公募以降、一定の制約はありながらも補助金とリースの併用によるメリットを活かすべく共同申請が多く出されるようになった。ただ、電気料金の値上げやコロナ対策として行われた融資の返済時期にあたり、支払に関する相談も増加しているという現況。

懇親会の様子

川﨑委員ご挨拶&乾杯

林委員中締め

中部地区正副懇談会

1. 日　時：2023年3月14日（火）
2. 懇談会「現況報告」：（株）井高（5階会議室）　21社27名参加　15:00 ~ 17:15
3. 懇親会：銀座アスター 松坂屋店　25名参加　17:45 ~ 20:00

■ 懇談会

髙田会長ご挨拶

- 来年度会費について報告。
- 全体の業況として 西部地区、東部地区は良かったが中部地区は厳しい状況。
  日工会の数字は 1 ~ 2 月が 1,200 億円台で推移、2 月の内需は 389 億円で 20.3% ダウン、外需も 852 億円で 5.5% のダウン。
  各地域とも 1 兆 6,000 億を目指しており、後半が勝負と考えている。

各社現況報告

- 2022 年度は 2021 年度比で増加はしているものの 2018 年度のピーク時には及んでいないとの報告が大半。
- 航空機は昨年が底で上がりつつある、国内は補助金頼み、注残はあるものの足元の売上は厳しい、JIMTOF は手応えがあったものの成約に結び付いていないので今後の取り込みに期待、トヨタの方向が決まれば仕事は出てくると思われるが現状はまだ動いていないとの報告。
- 海外ではコロナの終息で一気に設備投資が動いている、インドネシアは急激に伸びている、工作機械業界は受注が減少してきているが、現状フル生産の状態で部品の値上げと入手難から余分な工数がかかっている、国内、海外ともにユーザーによる好不調のバラツキが大きい、淘汰が進み商流に変化が起こっているとの報告。
- 人材問題としては、採用と定着率で苦慮しているとの話が多く寄せられた。
- 今年前半は注残があるものの後半は厳しいのではとの見通しが大勢。工作機械の落ち込みが大きいことから他商材販売でカバーしているとの声も聞かれた。

■ 懇親会

会場を「銀座アスター 松坂屋店」に移し、釜屋（株）山本社長のご挨拶と乾杯ご発声により参加者 25 名の皆様が懇談・懇親を深めました。大いに盛り上がる中、三栄商事（株）後藤社長より閉会のご挨拶があり、髙田会長の手締めでお開きとなりました。

釜屋(株)山本社長　乾杯ご挨拶

三栄商事(株)後藤社長　閉会ご挨拶

日工販 髙田会長　中締め

西部地区期末懇談会

西部地区委員会の2022年度最後の行事として、会員各社の情報交換を行う懇談会と懇親会を開催いたしました。3月決算の会員もいらっしゃる中、全29社46名の方々にご参集いただきました。

1.日　時：2023年3月16日（木）　15:00 ～ 19:00
2.会　場：新大阪江坂東急 REI ホテル
3.日　程： 1）懇 談 会
15:00 ～ 17:00　「クリスタルルーム」　参加者27社42名
① 委員長挨拶および報告事項
② 「現況報告と見通しについて」
2）懇 親 会
17:00 ～ 19:00　「ウッドルーム」　立食形式　参加者27社43名

懇談会要旨

《正会員》

3月が期末になるが、今期は少し偏った状況で下期は少々厳しい。売り上げは目標値に対しほぼ到達するが、受注は未達の気配。市況的には、半導体はストップ感はあるが元々波のある業界でまだ余裕があり次に向けての投資動き始めている。その他も業界においても動きが出始めているものの様子見感は否めず、補助金の後押しがまだまだ必要。なお、機械納期の問題は受注・売上においても大きな足かせ。概ねコロナ前の水準に戻った感はあるが、来期においては全く読めない状況。中古機もまだ動きが鈍い。ただ、新規の受注に関してはそれなりの引き合いもある。JIMTOF2022の受注をかなり期待したが、なかなかとり切れていない。来上期は少し厳しいと予想。

ユーザーとしては中小企業が多いが、厳しいといわれる中で業績を伸ばしている会社も多く、また中小企業医療機器研究開発支援事業の補助金なども使い確実に動いている。

今期は大きな受注もあったが来期と違う感じがするのは、補助金ありきは違いないが、補助金が通らなければ買わないというユーザーが増える懸念がある。

一方で、受注も売上も前年を大きく上回っている企業もあり、航空機関連・半導体向けロボット・防衛関連などが源泉となっている模様。

《賛助会員》

売上は好調だが、今期の目標においては前年比横ばい。ただし中国市場の落ち込みは影響が大きい状況。工作機事業の落ち込みの支えになっているのは、成型機事業・食品事業の各分野。工場においてもまだ受注残も多く当分は忙しいが、現在の市況の中で STOP 感は否めず、工具メーカーにおいても刃物受注が落ちている。また、多くのユーザーが人材不足などの点から自動化への取り組みに動き始めている模様。

西日本では上期好調だったが、下期案件が減ってきており通期では懸念している。海外出張も可能になってきたが、海外受注も増えてきているのと、海外特有の傾向で通販での売り上げが増えてきている。自動車関連においてはコロナ前のまだまだ8割程度と見ている企業の他、3年前から受注推移が落ちてきており、昨年に至っては6割程度になっている現況を共有。なお、航空機関連に関しては5割程度。SE 事業として自動化の刃物サイドからの支援も実施。

加工内容が EV 関連のインバーターに代わることにより既存機での対応が可能で加工機は改造のみで自動搬送のロボットだけが新しくなっているような状況。環境は大きな変化を迎えている。エリア的には九州の半導体製造装置向けは活況ではあったが、現在は落ち込んでいる。2023年後半には動きが出ると思われるので期待。

会員消息

商号変更

《正会員》 2022年10月1日
株式会社ユーエイ →OTファテック株式会社
2023年4月1日
メルダスシステムエンジニアリング株式会社 →三菱電機メカトロニクステクノロジーズ株式会社

《賛助会員》 2023年4月1日
日本電産マシンツール株式会社 →ニデックマシンツール株式会社

編集後記

新年度がスタートし初々しい顔立ちに新品のスーツを着た新入社員を街中でも多く見かける季節となりました。今年はコロナも5類感染症に分類され、歓迎会、接待といった会合や、対面での会議といった日常が戻り、新入社員にとって早く会社に馴染み、仕事を習得しやすい環境にやっと戻ったと思います。

さて、我々工作機械業界においては社員の募集や定着に苦労をされているというお話をよく耳にし、業界の人気が無いのかな？と考えておりましたが、先日お会いした社長さんの言葉で考えが変わりました。曰く、業界を問わず『営業職』の人気が無いんだよ。

今の若者にとって魅力的に映る営業職とはどんなものなのだろう、もしかしたらコロナ禍に導入が進んだリモートワークやWeb会議などがヒントになるかもしれません。もしくはDXやAIの活用で営業職が劇的に変わる時代が来るのでしょうか。なかなか難しいテーマですが、真剣に考えていく必要性を感じています。

お客様にお会いして世間話をしながら情報を聞き出す、そんな昔ながらの営業スタイルも、楽しいものなのですが。

〔金子（隆）〕

〈コロナ5類移行〉

新型コロナ感染対策は本誌が発行された頃には5類感染症へ位置づけが変更され「個人の選択を尊重」した判断に委ねる事になっていると思われますが、会員の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか？ 原稿を書いている今日現在での国内累計感染者数は33百万を超えており大変な数となっておりますがGW明けからは新しい生活様式となり感染者数の動向に注視しつつも新様式での新しい営業活動の構築が出来たらと思います。

さて、本業である工作機械販売についてはコロナ禍ながら目標達成に近い数値で推移していましたが今期は少し肌感覚として厳しいモノを感じております。

半導体、各種補助金以外に頼るべき業種が見受けられず難しい舵取りを迫られる場面が多いのがその理由ですが、下名の心配を他所に受注が積み上がり会員皆様の目標値達成が出来る事を祈念し編集後記とさせて頂きます。 〔金子（智）〕

お問い合わせ・ご意見をお寄せください。 ■ E-mail：jmtda@nikkohan.or.jp

日工販NEWS　May 2023

2023年5月発行

発　　行　日本工作機械販売協会
〒108-0014　東京都港区芝5-26-30　専売ビル3階
電話　03-3454-7951　　FAX　03-3452-7879

発行責任者　専務理事　中島　和彦

編　　集　日工販調査広報委員会
委員長　金子　隆視（丸紅テクノシステム株式会社）
委　員　君村　義人（伊藤忠マシンテクノス株式会社）
中村　龍二（株式会社トミタ）
金子　智彦（三菱商事テクノス株式会社）
長友林太郎（株式会社牧野フライス製作所）
吉田　夢輝（三井住友ファイナンス＆リース株式会社）

制作・印刷　株式会社昌文社
〒108-0014　東京都港区芝5-26-30
電話　03-3452-4931　　http://www.sho-shiba.com

日本工作機械販売協会　会員会社一覧（五十音順）

2023年4月現在

正会員（全80社）

東部地区（35社）

- ㈱旭商工社
- アルビテクノロジー㈱
- 伊藤忠マシンテクノス㈱
- イワイ機械㈱
- ㈱ウインテック
- 大石機械㈱
- ㈱カナデン
- ㈱カネコ・コーポレーション
- ㈱兼松KGK
- ㈱京二
- ㈱共和工機
- 群馬工機㈱
- ㈱国興
- ㈱小林機械
- 佐藤商事㈱
- ㈱三機商会
- 三洋マシン㈱
- サンワ産業㈱
- シマモト技研㈱
- 住友商事マシネックス㈱
- ㈱セイロジャパン
- 誠和エンジニアリング㈱
- 双日マシナリー㈱
- 帝通エンヂニヤリング㈱
- ㈱テヅカ
- ㈱トミタ
- ㈱豊通マシナリー
- ㈱NaITO
- 日鋼YPK商事㈱
- 丸紅テクノシステム㈱
- 三井物産マシンテック㈱
- 三菱商事テクノス㈱
- ㈱ヤマモリ
- ユアサ商事㈱
- 米沢工機㈱

中部地区（23社）

- 石原商事㈱
- ㈱井高
- 岡谷機販㈱
- カトー機械㈱
- 釜屋㈱
- 岐阜機械商事㈱
- 甲信商事㈱
- 三栄商事㈱
- ㈱三機
- サンコー商事㈱
- 三立興産㈱
- 下野機械㈱
- ㈱大成
- ㈱大誠
- ㈱大和商会
- ㈱東陽
- ㈱日本精機商会
- 浜松貿易㈱
- ㈱不二
- 三菱電機メカトロニクステクノロジーズ㈱
- 山下機械㈱
- ㈱U-MACHINE
- ワシノ商事㈱

西部地区（22社）

- 赤澤機械㈱
- 伊吹産業㈱
- 植田機械㈱
- OTファテック㈱
- 関西機械㈱
- 京華産業㈱
- 合田商事㈱
- 五誠機械産業㈱
- 桜井機械㈱
- ㈱ジーネット
- ㈱ダイイチテクノス
- 大幸産業㈱
- ㈱立花エレテック
- ㈱タナカ善
- 西川産業㈱
- 日工機材㈱
- ㈱ニッツマシナリー
- 日本産商㈱
- ㈱マックマシンツール
- ㈱マルカ
- 宮脇機械プラント㈱
- ㈱山善

賛助会員（全76社）

製造業（67社）

- アイダエンジニアリング㈱
- ㈱アマダマシナリー
- 育良精機㈱
- エヌティーツール㈱
- ㈱MSTコーポレーション
- (同)LNSジャパン
- エンシュウ㈱
- オーエスジー㈱
- ㈱オーエム製作所
- オークマ㈱
- ㈱岡本工作機械製作所
- ㈱神崎高級工機製作所
- ㈱北川鉄工所
- キタムラ機械㈱
- ㈱北村製作所
- ㈱キャドマック
- キャムタス㈱
- 黒田精工㈱
- 三愛エコシステム㈱
- サンドビック㈱
- 三宝精機工業株式会社
- ㈱C&Gシステムズ
- ㈱ジェイテクト
- ㈱シギヤ精機製作所
- シチズンマシナリー㈱
- 芝浦機械㈱
- シーメンス㈱
- 新日本工機㈱
- 住友電気工業㈱
- ㈱ソディック
- 大日金属工業㈱
- ㈱太陽工機
- 高松機械工業㈱
- ㈱TAKISAWA
- ㈱ツガミ
- 津田駒工業㈱
- DMG森精機㈱
- ㈱東京精機工作所
- ㈱東京精密
- 東洋精機工業㈱
- ㈱ナガセインテグレックス
- 中村留精密工業㈱
- ㈱西田機械工作所
- ㈱日研工作所
- ㈱日進製作所
- ニデックオーケーケー㈱
- ニデックマシンツール㈱
- ハイデンハイン㈱
- ㈱初田製作所
- 浜井産業㈱
- 浜名エンジニアリング㈱
- BIG DAISHOWA㈱
- ファナック㈱
- ㈱FUJI
- ブラザー工業㈱
- 豊和工業㈱
- 牧野フライス精機㈱
- ㈱牧野フライス製作所
- ㈱松浦機械製作所
- 三井精機工業㈱
- ㈱ミツトヨ
- 三菱電機㈱
- 三菱マテリアル㈱
- ㈱MOLDINO
- 安田工業㈱
- ヤマザキマザック㈱
- 吉川鐵工㈱

リース業（9社）

- 共友リース㈱
- JA三井リース㈱
- 十六リース㈱
- 首都圏リース㈱
- 昭和リース㈱
- 三井住友トラスト・パナソニックファイナンス㈱
- 三井住友ファイナンス&リース㈱
- 三菱HCキャピタル㈱
- 三菱電機フィナンシャルソリューションズ㈱

日本工作機械販売協会
JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-30 専売ビル
TEL.03-3454-7951 FAX.03-3452-7879
http://www.nikkohan.or.jp